

2013年6月 群馬県高崎市・甘楽町で
ネオニコチノイド系農薬チアプロプリドを空中散布

⇒ 地域の小児科に
患者殺到

(農薬中毒の症状)
頭痛・眩暈
吐気・倦怠感
不整脈・頻脈
手足の震え

2013.7.12. 週刊朝日

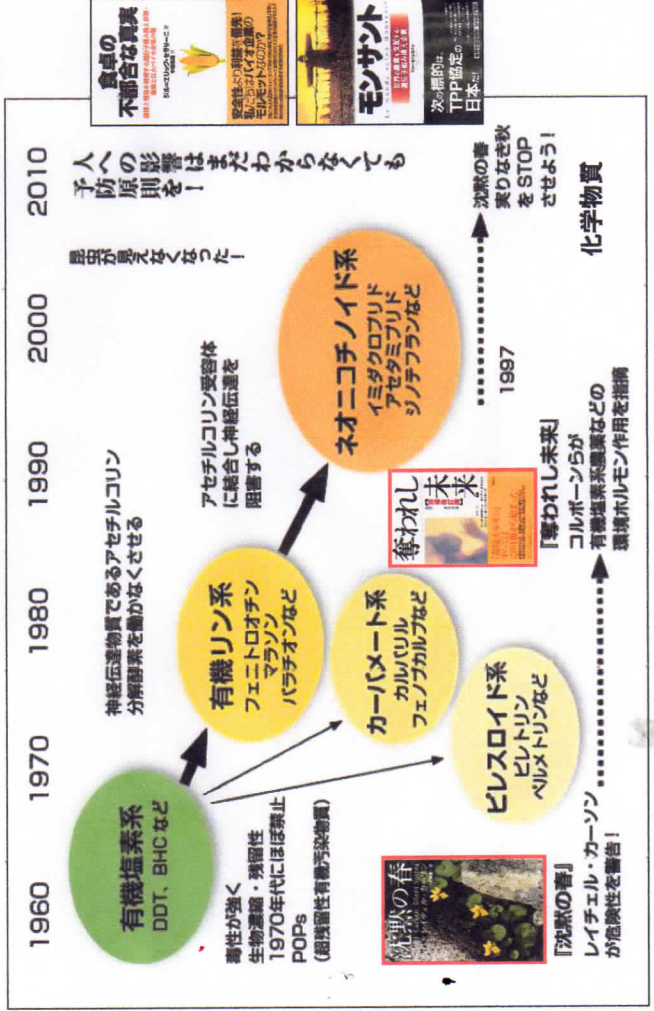
【医師らが警告】
「欧州では規制強化のネオニコチノイド系を
緑茶、果物など
食物から摂取の危険性も」

**農薬のドサクサ
規制緩和で
子どもが危ない**

作家・黒山に氏の社会派小説「毒茶」は、農薬散布の個人ヘリが墜落し、農薬メーカーが一切被害の責任を回避する場面から始まる。これは、かつてのネオニコチノイド系農薬だ。これは、航空機ではない、農薬による健康被害は子どもたちを命を奪っている。だが、政府は欧米と並び、これら農薬を「規制緩和」しているのだ。



危険な農薬の変遷 → + 遺伝子組換え食品



2015/04/18 岩上安身×西尾正道×黒田洋一郎 IWJでのインタビュー

～増加する自閉症～
原因は遺伝ではなく、環境にある

単位面積当たりの農薬使用量と自閉症など発達障害の有病率

Elisabeth, et al. 2012, Autism Res. (単位面積当たり農薬使用量)

OECD 2009.

単位面積当たりの農薬使用量と自閉症など発達障害の有病率

単位面積当たり農薬使用量 (kg/ha)

自閉症 (ASD) の有病率 (%)

単位面積当たり農薬使用量 (kg/ha)

自閉症 (ASD) の有病率 (%)

生命を脅かすTPPの2つの大きな問題

【医療問題と食物問題】

- ★ 高濃度女性ホルモンが残留する牛肉
- ★ 女性ホルモン入り餌で生産性が1割高
⇒ 米国牛肉の消費量と発がんが相関し5倍増
(前立腺癌、乳癌、卵巣癌、子宮体癌)
- ★ 耐性菌に汚染された豚肉
(米食品医薬品局報告: 69%は抗生物質耐性菌に汚染されている)
(2013年9月米疾病対策センター報告: 米国内で2百万人が抗生物質耐性菌に感染し、年間2万3千人が死亡している)
- ★ ⇒ 感染症に対する治療に支障
緩和される残留農薬による健康被害
(除草剤、ネオニコチノイド系農薬、ポストハーベスト農薬)
- ★ GM(遺伝子組み換え)作物
(大豆、トウモロコシ、小麦 など)
コーンスターチ(澱粉)として多くの食品製造の素材
GMT(トウモロコシ)は中性脂肪を増加させる
- ★ 人工甘味料 (アスパルテーム)